

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

印西市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：大森小学校）

「学校たんけん」で2年生がタブレットPCを活用

小学校1年生の「がっこうたんけん」で2年生が案内役を務める。その際に、「事前に各教室について調べたことをタブレットPCにまとめておき、それを使って案内する」活動に取り組む。

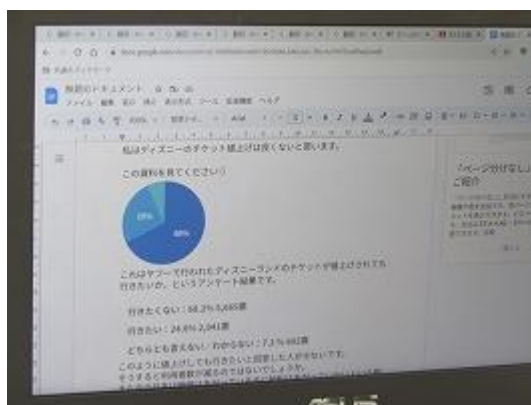
1年生の「がっこうたんけん」で資料を使うという明確な目的をもち、2年生がこれまで学習したことを生かして資料作成に取り組んだ。

2年生はグループごとに作成した資料を共有して全教室の情報が閲覧できるようになっている。

廊下・特別教室を含む校舎内はWi-Fi環境が整備されており、本活動に取り組む上での支障は生じない。1年生にとってもタブレットPCを活用するための意欲づけとなった。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：西の原中学校）



中学校2年生の国語科。説得力のある提案をするという単元で、「主張を明確にし、根拠立てて発表する」という活動。生徒たちが課題を設定し、自分なりの提案を「アンケートフォーム」「ドキュメントツール」等を駆使してまとめ、小グループ内に発表する。班員はそれぞれの提案について評価する。

さまざまな提案がなされ、「叱られて指導されるのとほめられて指導されるのはどちらが成長する？ ほめられた方がよい」、「なぜ小中高で英語を学ばなくてはならないの？ 英語は学ばなくてよい」といった議論が深まる主張が見られた。

また、写真やグラフを上手に用いて主張をする姿も見られた。